

# 安定成長下 県民の総意を結集して

昭和51年度当初予算が3月定例県議会で可決されました。本年度は高度成長時代から安定成長へ転換の年だといわれます。県行政も、県民の総意のもとに、この困難な転換期を乗り越える覚悟です。県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



## 昭和51年度予算3月定例県議会における 知事説明(要旨)

昭和五十一年度は、高度成長の時代にわかれをつけ、新しい時代へと転換する年であると存じます。

今日の経済不況は、これまでに何回か経験したような不況と異なり、構造的な変化を内包しております。すなわち資源問題や公害など環境汚染問題が深刻化したため、これまでの高度成長政策から安定成長路線へと軌道を修正してゆかねばならなくなっています。

地方行政についても、我が国経済の変化と深くかかわっているためであります。県民の負託に応えるためには何をいかにすべきかについて地方自治の原点にかえって厳しい選択を迫られるものと思えます。限られた条件の中で住民の福祉を確保するため住民自らが努力すべき分野、行政が担わねばならない分野について、はっきりした役割の分担が必要であると考えます。

県行政自体もいかに限られた財源を効率的に使い、県職員を最大限に発揮できるかを真剣に考え県行政のあらゆる面でこれまでの惰性を排し県民の総意のもとにこの困難な転換期を乗り越えてゆくことが必要であると思えます。

これからの新しい時代においては、高度成長期に失われつつあった節約や勤勉という日本人の持っている良い習慣あるいは地域社会における相互の社会連帯を取り戻し、これを県行政に積極的に生かして行かねばならないと思えます。

以上のような考えから、これまで同様広く対話に努め、その総べての参加を得ながら県政をすすめてゆく覚悟でありますので、県民各位のご理解とご協力を切にお願いします。

次に財政問題についてですが、五十一年度の財政運営は五十年度に引き続き厳しい状況にあるといわざるを得ません。五十一年度は、地方財政全体でみますと二兆六千余億円の財源不足が予想されています。これについては、約一兆四千億円を地文交付税の増額で、残り一兆二千億円を財源不足対策債によって補うという地方財政対策が決定されました。これにより、五十一年度の地方財政は前年度にも増した借金に依存した運営を強いられることとなりますが、地方財政としては不況から脱出するための応急的な措置であり、やむを得ないものであると考えます。

本県の五十一年度の予算も同様に厳しい状況下にありますので、今後の状況の変化に即し、新しい環境に対応しようとする歳入歳出とも極力その合理化適正化に努めたところです。

まず歳入面については、第一に各種の使用料手数料について応益負担の原則のつとより適正化を図りました。第二に、県債の大幅な増加を予定いたしました。その他、県税や地方交付税等につきましても、今後の景気動向のいかんにより大きく影響を受けますので、過大な見積りにならないよう慎重な見直しを立てた上

で計上しております。

歳出については、一般行政経費を従来にもまして厳しく抑制しましたが、公共事業については、国の景気対策もあり、この際おくれた社会基盤の整備を一層促進することとし、前年度六月現計予算と比べ二六%計上いたしました。

## 第一 積極的な社会基盤づくり

### 一、社会基盤の整備 (公共事業の促進)

本県が真に豊かで住みよい郷土を築いていくためには、生活と産業の基盤となる交通通信網の整備をはじめ、水資源の開発等生活環境施設の整備並びに国土保全及び産業基盤の整備を計画的かつ積極

また、県単独投資事業及び公共事業以外の投資事業については、前年度六月現計予算のおおむね八〇%、直轄事業負担金については、前年度最終予算額程度を目途に計上しております。これにつきましては、今後確実な財源の見通しを得ることができれば、補正措置をとりたく思います。

また、県単独投資事業及び公共事業以外の投資事業については、前年度六月現計予算のおおむね八〇%、直轄事業負担金については、前年度最終予算額程度を目途に計上しております。これにつきましては、今後確実な財源の見通しを得ることができれば、補正措置をとりたく思います。

また、川辺川ダムの建設については、水源地域整備計画の作成を急ぐなど水没地対策の充実にも努めるとともに、竜門ダムの建設についても筑後川からの分水問題の解決に努めるほか水没地対策についても、これを一層推進してまいります。

次に、高速、高効率交通網の整備については、まず、熊本港の建設も国の第五

次港湾整備五か年計画への組み入れが決定されましたので、初年度は、国直轄事業四億円、国庫補助事業三億円で事業の推進を図ります。なお同港の建設については、今後、県財政事情あるいは経済情勢の変化に即応しながら着実にすすめてまいります。

九州新幹線鉄道については、その早期着工の実現に努めます。一方、九州縦貫自動車道についても、熊本以南について早期完成を期することにいたします。なお、熊本空港については、国際航空路線の開設に備えるため、滑走路の延長が現在の二千五百メートルから三千メートルに整備されます。

### 三、地域開発

水資源開発については、熊本市及び同周辺地域の地下水利用の実態調査及び河川水の開発調査並びに天草地域の水資源開発調査を行うほか、新たに有明海、八代海沿岸市町村の地下水利用の実態調査を行います。

## 第二 自然の保護と 生活環境の整備

### 一、美しい熊本づくり

美しい熊本づくりについては、県民の総意の結集を図りながら、住民生活の中



▲熊本の南北を貫く縦貫道